

市民とともに 新たなまちづくりへ



昨年6月にスタートした上田市政。
2年目となる今年は、市長の施政方針「さっぽろ元気ビジョン」を
実現するための実行計画「さっぽろ元気プラン」がいよいよ完成します。
今回の特集は、プランの柱の一つで、一足先にまとまった
「新まちづくり計画」の紹介を中心に、「市民自治」「市役所改革」の
計画案に対する意見募集の方法をお知らせします。

上田市長

誌上インタビュー

四十四年ぶりの民間出身者として、
また政令指定都市初の再選挙を経て就任した上田市長。
この一年間の手応えと、
これからのまちづくりに対する思いを語ってもらいました。

一年を振り返って、率直な感想
を聞かせてください

皆さんとの約束を基に、私が四
年間で取り組むべき政策をまとめ
たのが「さっぽろ元気ビジョン」
です。「市民の力みなぎる、文化と
誇りあふれる街」を目標に掲げ、
その実現に向けて「市民参加」を
市政運営の中心に据えています。
具体的には、「市民自治」「まちづ
くり」「市役所改革」を政策の柱に
個別の事業を進めています。三
つの大きなテーマについては、こ
の一年で道筋をつけることができ
たと思っています。

市民参加、ひいては市民自治を
実現するための具体的な方策
は？

自分たちの街をどうするのかを、
自分たちの意志で決め、そして行
動するのが「市民自治」のあるべ
き姿だと考えています。その足掛
かりとして、まずは、皆さんが市

政に参加できる仕組みづくりに積
極的に取り組んできました。

「市役所改革」など三つの政策の
柱には、それぞれに公募委員を中
心とする市民会議を立ち上げ、市
民の視点を反映させるよう努めて
います。また、市内八十七カ所の
出張所・連絡所を「まちづくりセ
ンター」に改編し、市民が気軽に
まちづくりについて話し合ってい
ける場として位置付けました。さら
に、「タウントーク（10歳）」「出前
講座」の開催や、市の重要な計画
などを決める前に皆さんから意見
をもらう「パブリックコメント制
度」も導入しました。

平成十八年度まで二百六十五億
円もの収支不足が見込まれてい
ます。厳しさを増す財政状況を
市民にどのように訴えますか？

私も市長になるまで、市の財政
がこれほど厳しいとは思いません
でした。行財政の見直しに関して

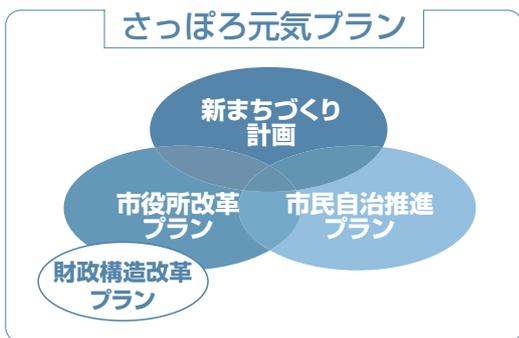
は、昨年の秋から、市役所のすべ
ての仕事を根本から見直す「事務
事業の総点検」を行っていきま
す。削れるものは可能な限り削り、必
要な事業に振り当てますが、現在
の財政状況では、将来的にこれま
でと同じ水準の行政サービスを維
持していくのさえ難しくなると危
惧しています。

そうした状況もあり、皆さんに
は今後、自らが担うべきものは自
らの手で行うよう、まちづくりへ
の協力を呼び掛けていく考えです。

いよいよ完成する元気プランに
ついて一言お願いします

計画には、皆さんの声が反映さ
れています。ですから、実行する
過程においても皆さんの積極的な
参加とご協力をお願いします。

さっぽろ元気プラン



※政策を決定する際、市民の皆さんに意見を求め、それを考慮して決定する仕組み。